

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月18日更新

事務事業名		所管事務調査事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康	所属部	議会事務局	課長名	財津 公正
	施策	2	行政改革の推進	所属課	議会事務局	担当者名	中村 考智
	施策の柱	10	開かれた議会の推進	所属班	議会班	(内線)	1313
予算科目	会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10935	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	常任委員会、議会運営委員会等が所管する事務について、先進地の視察研修調査を行う。先進地を視察し、より良い事業を市政に反映するため研修調査を行っている。市民ニーズの高まりと多様性から、審議内容も複雑化してきており、先進地を視察することにより知識を高めていく必要がある。常任委員会、議会運営委員会は、平成27年度から年1回の視察研修を2年に1回にして、これまで行けなかった先進地に行けるようにした。
【業務の流れ】	各常任委員会、議会運営委員会等の所管する事務の研修内容、研修地等を委員長、担当課との協議のうえ選定、相手先との視察の日程調整等を行う。研修に際しては担当課職員及び事務局職員が同行し、委員会所管事務調査を補佐する。
【主な予算費目】	旅費 (費用弁償・普通旅費)
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	特別委員会(学校施設等小委員会)の視察研修及び議会運営委員会委員3名が予算決算委員会先進地(荒尾市)に視察を実施した。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 常任委員会及び議会運営委員会において先進地での視察研修(2泊3日)を計画している。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 視察回数 イ: 視察日数	予算の主な増減の理由 27年度から常任委員会、議会運営委員会研修を隔年1回とした。29年度は研修を行うための旅費による増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 議員	(単位) 人 ア: 議員数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 先進地の視察研修調査により、議員の見識を高める。	(単位) % ア: 視察目的が達成できたと考えている議員の割合	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 常任委員会の所管事務について先進地の視察研修を行い、そこで得た成果を市政に反映させることを目的としており、その目的が達成されたか否かが当該事務事業の指標となる。これまでもすべての議員が研修の目的を理解し、視察の成果を市政に反映させるため議員活動に取り組んでおり、今後も同様の成果が期待できる。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア 回		4	4	4	4	4	0	4	0
	イ 日		8	12	4	4	12	0	12	0
② 対象指標	ア 人		21	19	19	13	19	0	19	0
	イ %		100	100	100	100	100	0	100	0
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	0	100	0
	イ %									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	735	2,489	47	34	3,143	0	3,300	0
(A) 事業費計	千円	735	2,489	47	34	3,143	0	3,300	0	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	8	2	14	8	0	8	0
	延べ業務時間	時間	1,014	1,170	100	750	1,300	0	1,300	0
	(B) 人件費計	千円	4,039	4,344	398	0	5,179	0	5,179	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,774	6,833	445	34	8,322	0	8,479	0

事務事業名	所管事務調査事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 熊本地震の影響もあり、委員会の日帰り研修ができなかったため
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全議員が所管事務調査に参加することで、研修の成果を市政に反映させることができる。実施予定であるため、達成の見込みはついている。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 議員発議による条例の制定など市政に反映できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 各団体等でも研修はあるが、常任委員会所管事務を考えると統合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 研修地の選定、研修日数の考慮等により、削減の余地はある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 2名の職員の同行が必要であり、削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市政にわたるものであり妥当である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

先進地に赴き研修を積むことで、その成果が本会議中の一般質問・質疑や委員会活動等に生かされ、結果として市政に反映されている。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						